

Monday, Apr 8, 2019
Infrastructure | Asia-Pacific | Japan

THE WORLD FOLIO Japan

JESCO: Building excellence

2 days ago



JESCO Pride,
It's "MADE BY JAPAN" engineering

Toshihiro Matsumoto, Chairman and Representative Director & CEO JESCO Holdings, Inc.

Toshihiro Matsumoto

Chairman and Representative Director & CEO of JESCO Holdings, Inc.

Toshihiro Matsumoto of Japanese construction firm JESCO discusses its venture into Vietnam, the impact of the Tokyo 2020 Olympic Games on the construction industry and some of the company's highlight projects.

Despite the redevelopment projects towards the Tokyo 2020 Olympic Games, Japan's shrinking demography is a concern for the construction industry. What is your long-term vision for the sector?

To be honest, this issue hasn't taken us by surprise. Twenty years ago, we realized that new building constructions would decrease due to our negative demographic evolution. Therefore, we understood that developing overseas markets was a necessary step to pursue corporate growth. For that purpose, we sent highly educated Japanese engineers to ASEAN countries. It was a win-win situation. On the one hand, our engineers acquired precious construction experience in vital ASEAN markets. On the other hand, the local engineers were receiving highly skilled workers they could learn from.



アセントコンドミニアムズ

2018年4月 ベトナム国建設省副大臣表彰
「2018年度 高品質工事賞」受賞



ノイバイ国際空港

2018年4月 国土交通大臣表彰
「第1回 JAPANコンストラクション国際賞」受賞

2019年4月
英国通信社「THE WORLD FOLIO」に取材記事が掲載



FOR SAFETY FOR SOCIETY
JESCO

2019年8月期第2四半期

決算説明会資料

JESCOホールディングス株式会社 [1434・東2]

I.	2019年8月期 第2四半期 連結決算概要	2
II.	2019年8月期 計画概要	8
III.	中期計画（中間期）レビュー&トピックス	17
IV.	参考資料	28

I . 2019年8月期 第2四半期 連結決算概要

◆ 2019年8月期 第2四半期 実績

実績

前年同期比

売上高 : 49億67百万円

+59.1%

営業利益 : 1億14百万円

+365.3%

- 国内EPC +74%、アセアンEPC +44%と、共に大幅な増収となりました。
- 売上増加に伴う影響、販売費及び一般管理費の削減効果もあり、営業利益も大幅な増益となりました。

※EPC=Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

(百万円)	2018年8月期	2019年8月期	前年同期比		備考
	第2四半期累計 実績 金額	第2四半期累計 実績 金額	増減 金額	増減 率	
売上高	3,121	4,967	+1,845	+59.1%	CNS 914、SUGAYA 402、 JHE 457、ASIA 57
売上総利益	514	543	+28	+5.5%	CNS 84、SUGAYA 61、 JHE △130、ASIA 13
販売費及び一般管理費	490	428	△61	△12.5%	HD △35、SUGAYA △5、 ASIA △9、JHE △7
営業利益	24	114	+89	+365.3%	
経常利益	6	110	+103	+1490.7%	支払利息 △5、受取精算金 4
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△30	67	+97	△323.6%	法人税等 21、特別利益 △24、 特別損失 5、非支配株主に帰属する 四半期純利益 △43
ROA (総資産経常利益率)	0.1%	1.1%	-	-	
ROE (自己資本当期純利益率)	-1.4%	2.0%	-	-	

セグメント別状況

(百万円)	2018年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2019年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減		備考
			金額	率	
売上高	3,121	4,967	+1,845	+59.1%	
国内EPC	1,891	3,208	+1,316	+69.6%	CNS 914、SUGAYA 402
アセアンEPC	1,211	1,731	+519	+42.9%	JHE 457、ASIA 57
不動産 (CRE)	127	90	△36	△28.9%	新宿御苑 △66、高田馬場 33
その他	220	237	+16	-	
調整額	△ 329	△ 300	+28	-	

(百万円)	2018年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2019年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減		備考
			金額	率	
営業利益	24	114	+89	+365.3%	
国内EPC	△ 71	60	+132	-	CNS/SUGAYA 売上増加の影響
アセアンEPC	111	22	△89	△79.9%	JHE 競争激化に伴う受注粗利の減少/ 原料費の高騰等による原価率の上昇
不動産 (CRE)	76	54	△21	△28.3%	新宿御苑 △46、高田馬場 24
その他	△ 91	△ 23	+67	-	
調整額	0	0	+0	-	

連結貸借対照表概要

(百万円)	2018年8月期末		2019年8月期 第2四半期末		前期末比 増減 金額	主な増減要因
	金額	構成比	金額	構成比		
流動資産	6,464	63.7%	5,523	59.6%	△940	現金及び預金 △847 受取手形・完成工事未収入金等 △324 未成工事支出金 288
固定資産	3,666	36.2%	3,733	40.3%	+66	建物及び構築物（純額） △25 投資有価証券 +94
資産合計	10,141	100.0%	9,266	100.0%	△874	
流動負債	4,431	43.7%	3,561	38.4%	△869	支払手形・工事未払金等 △547 未払法人税等 △381 未成工事受入金 444
固定負債	2,050	20.2%	2,027	21.9%	△23	社債 △25
負債合計	6,481	63.9%	5,589	60.3%	△892	
純資産合計	3,659	36.1%	3,676	39.7%	+17	資本金 +23、資本剰余金 +43 非支配株主持分 △41
負債純資産合計	10,141	100.0%	9,266	100.0%	△874	

連結キャッシュ・フロー計算書概要

(百万円)	2018年8月期 第2四半期累計 実績 金額	2019年8月期 第2四半期累計 実績 金額	前年同期比 増減 金額	主な増減要因
営業キャッシュ・フロー	△ 311	△ 502	△190	仕入債務の増減額 △542 未成工事受入金の増減額 447 法人税等の支払額 △403 売上債権の金額 305
投資キャッシュ・フロー	199	△ 208	△408	定期預金の預入による支出 △111 投資有価証券の取得による支出 △98
財務キャッシュ・フロー	56	△ 237	△294	短期借入れによる収入 735 短期借入金の返済による支出 △827 配当金の支払額 △64
現金及び現金同等物の 換算差額	2	△ 10	△13	
現金及び現金同等物の 増減額	△ 52	△ 959	△907	
現金及び現金同等物の 四半期末残高	570	531	△38	

Ⅱ. 2019年8月期 計画概要

連結損益計算書概要（半期・通期）

(百万円)	2018年8月期				2019年8月期				前期比増減	
	上半期 実績 金額	下半期 実績 金額	通期 実績 金額 構成比		上半期 実績 金額	下半期 予想 金額	通期 予想 金額 構成比		金額	率
売上高	3,121	6,133	9,254	100.0%	4,967	5,032	10,000	100.0%	+745	+8.1%
売上総利益	514	559	1,074	11.6%	543	656	1,200	12.0%	+125	+11.7%
販売費及び一般管理費	490	420	911	9.8%	428	371	800	8.0%	△111	△12.2%
営業利益	24	138	162	1.8%	114	285	400	4.0%	+237	+145.4%
経常利益	6	144	151	1.6%	110	274	385	3.9%	+233	+154.8%
親会社株主に帰属する 四半期・当期純利益	△30	1,129	1,099	11.9%	67	162	230	2.3%	△869	△79.1%
受注高	5,346	7,826	13,172	-	3,869	7,143	11,012	-	△2,160	△16.4%
受注残高	8,945	10,638	10,638	-	9,541	11,651	11,651	-	+1,012	+9.5%

セグメント別業績概要（半期・通期）

(百万円)	2018年8月期				2019年8月期				前期比増減	
	上半期 実績 金額	下半期 実績 金額	通期 実績 金額	構成比	上半期 実績 金額	下半期 予想 金額	通期 予想 金額	構成比	金額	率
売上高	3,121	6,133	9,254	100.0%	4,967	5,032	10,000	100.0%	+745	+8.1%
国内EPC	1,891	5,005	6,897	74.5%	3,208	4,261	7,470	74.7%	+572	+8.3%
アセアンEPC	1,211	1,156	2,368	25.6%	1,731	1,226	2,958	29.6%	+589	+24.9%
不動産（CRE）	127	125	252	2.7%	90	92	183	1.8%	△69	△27.6%
その他	220	221	442	-	237	237	475	-	+32	-
調整額	△329	△376	△706	-	△300	△785	△1,086	-	△379	-

(百万円)	2018年8月期				2019年8月期				前期比増減	
	上半期 実績 金額	下半期 実績 金額	通期 実績 金額	利益率	上半期 実績 金額	下半期 予想 金額	通期 予想 金額	利益率	金額	率
営業利益	24	138	162	1.8%	114	285	400	4.0%	+237	+145.4%
国内EPC	△71	176	105	1.5%	60	104	165	2.2%	+59	+57.1%
アセアンEPC	111	12	124	5.2%	22	157	180	6.1%	+55	+44.8%
不動産（CRE）	76	82	158	62.9%	54	55	110	60.1%	△48	△30.8%
その他	△91	△127	△218	-	△23	△1	△25	-	+193	-
調整額	0	△7	△7	-	0	△30	△30	-	△22	-

※売上高、セグメント利益は、内部取引消去前の数値です。

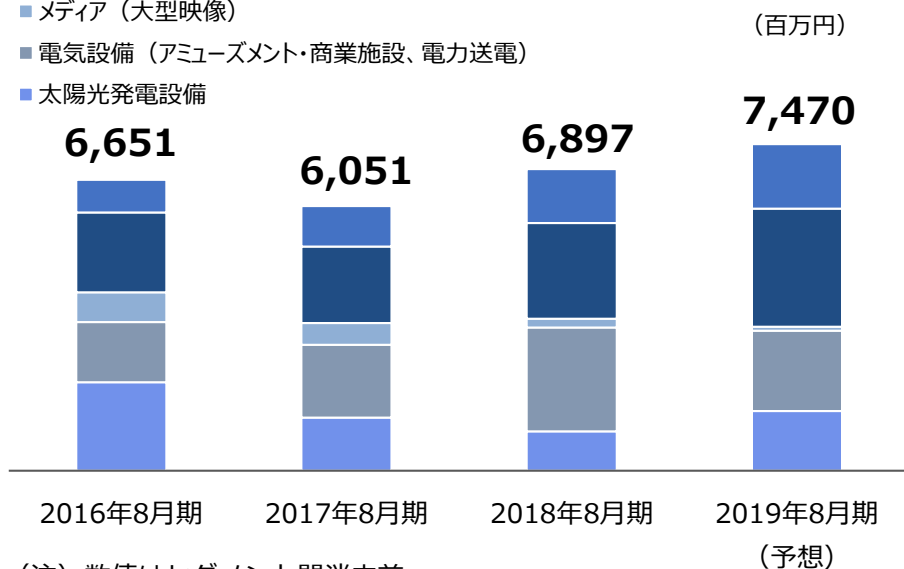
国内EPC※事業：事業領域別売上高の推移

※EPC=Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

◆ 電気・通信・無線設備工事の多くの分野で豊富な実績

(百万円)	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期(予想)
通信設備 (移動体通信)	748	926	1,236	1,475
公共設備 (ETC、防災無線、監視カメラ)	1,825	1,749	2,188	2,699
メディア (大型映像)	681	499	202	91
電気設備 (アミューズメント・商業施設、電力送電)	1,375	1,662	2,372	1,840
太陽光発電設備	2,022	1,215	899	1,362
合計	6,651	6,051	6,897	7,470

- 通信設備 (移動体通信)
- 公共設備 (ETC、防災無線、監視カメラ)
- メディア (大型映像)
- 電気設備 (アミューズメント・商業施設、電力送電)
- 太陽光発電設備



▲高速自動車道ETC設備工事



▲防災行政無線工事



▲移動体通信工事



▲架空送電線設備保守業務委託工事



▲太陽光発電設備工事



▲ハツ場ダム 電気設備・通信設備工事

(注) 数値はセグメント間消去前

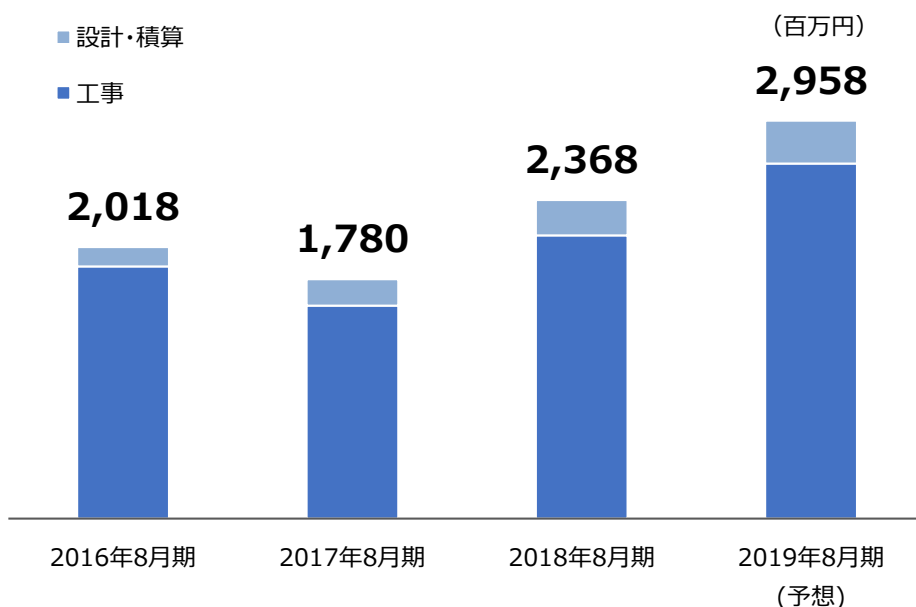
アセアンEPC※1事業：業務別売上高の推移

- ◆ JHE※2の高層コンドミニアム受注増により売上高増に貢献
- ◆ JESCO ASIA JSCも、ベトナムでの工事受注増、ODA案件等の設計積算業務により好調

※1 EPC = Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

※2 JHE = JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC

(百万円)	2016年8月期	2017年8月期	2018年8月期	2019年8月期(予想)
設計・積算	143	197	263	318
工事	1,875	1,583	2,105	2,640
合計	2,018	1,780	2,368	2,958



▲タンソンニャット国際空港
(電気設備工事の施工管理)



▲ノイバイ国際空港第2ターミナルビル
(電気設計・施工管理・電気設備工事)



▲ベトナム 南北高速道路 ホーチミン～ゾーザイ間
高速道路 (ITS工事)



▲サンライズシティビュウ
(電気・空調衛生設備工事)

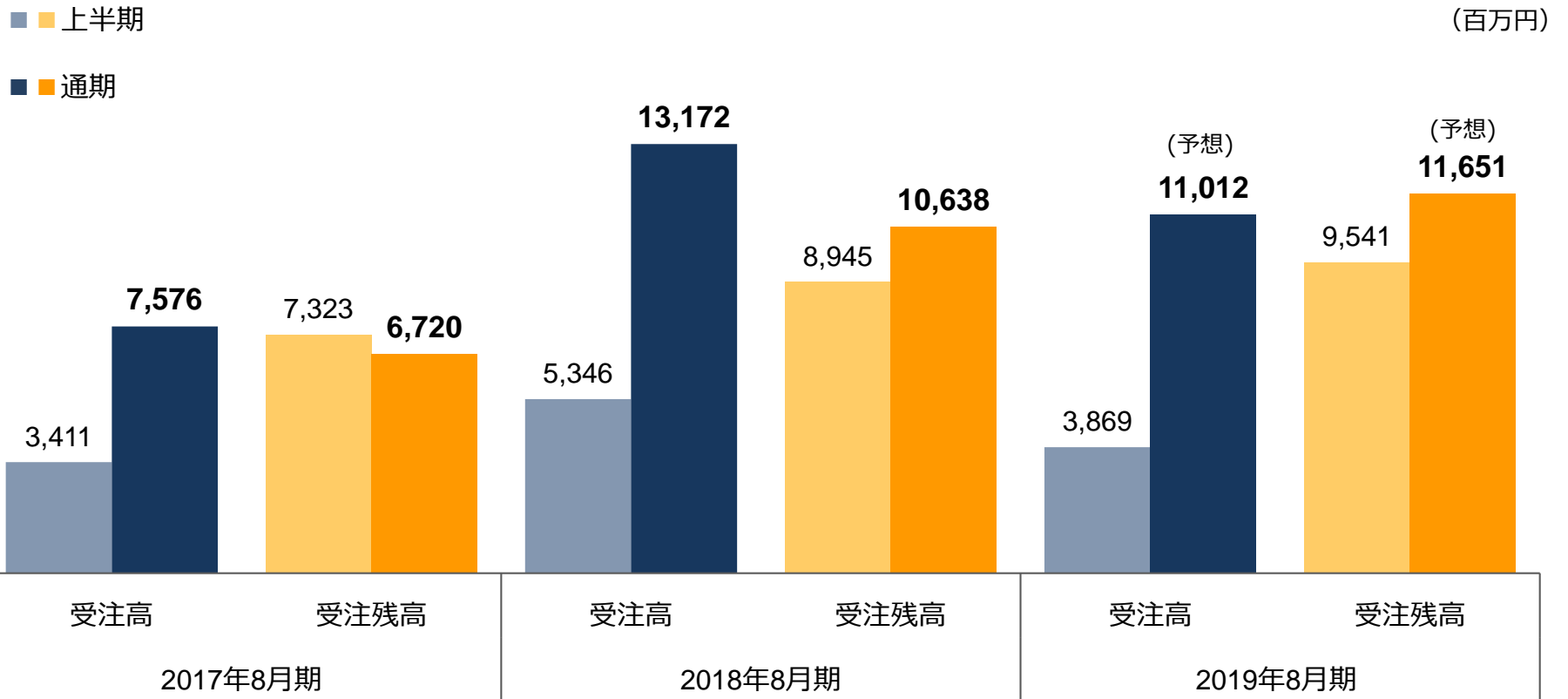
(注) 数値はセグメント間消去前

連結受注高・受注残高概要（半期・通期）

(百万円)	2017年8月期			2018年8月期			2019年8月期		
	上半期 実績	下半期 実績	通期 実績	上半期 実績	下半期 実績	通期 実績	上半期 実績	下半期 予想	通期 予想
受注高	3,411	4,165	7,576	5,346	7,826	13,172	3,869	7,143	11,012
国内EPC	3,124	2,929	6,053	3,645	5,846	9,491	3,157	3,431	6,588
アセアンEPC	262	1,201	1,463	1,682	2,142	3,825	684	4,167	4,852
不動産（CRE）	128	130	258	127	125	252	90	91	182

(百万円)	2017年8月期			2018年8月期			2019年8月期		
	上半期 実績	下半期 実績	通期 実績	上半期 実績	下半期 実績	通期 実績	上半期 実績	下半期 予想	通期 予想
受注残高	7,323	6,720	6,720	8,945	10,638	10,638	9,541	11,651	11,651
国内EPC	5,728	4,983	4,983	6,737	7,444	7,444	7,393	6,563	6,563
アセアンEPC	1,594	1,737	1,737	2,208	3,194	3,194	2,148	5,088	5,088
不動産（CRE）	-	-	-	-	-	-	-	-	-

連結受注高・受注残高の推移（半期・通期）

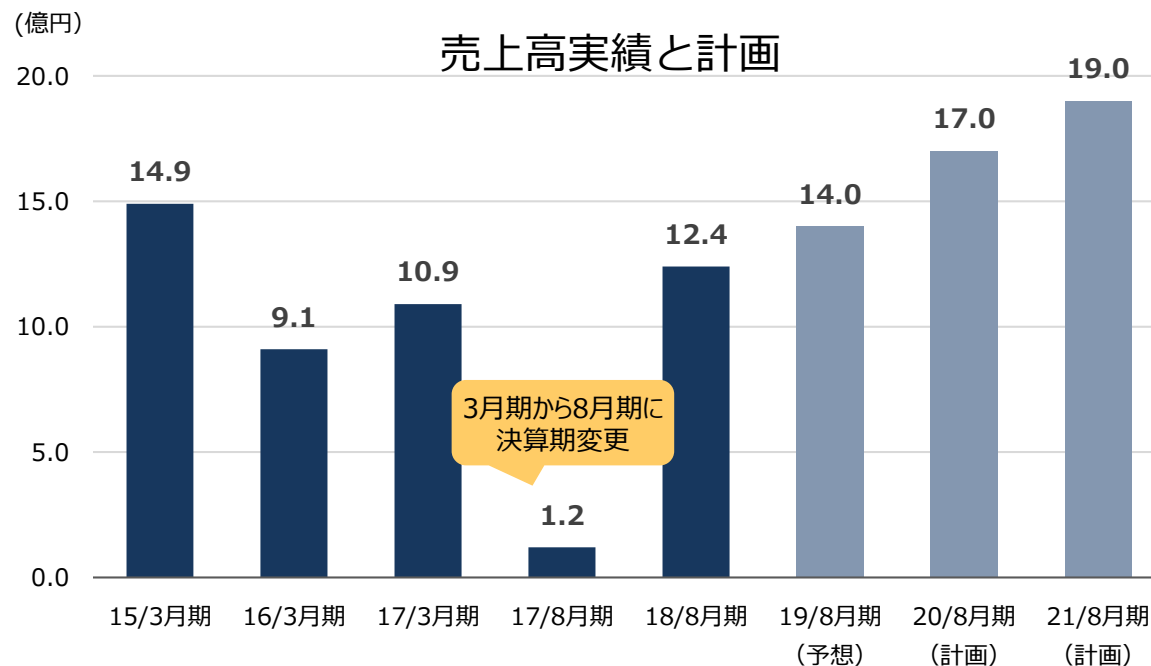


◆ JESCO SUGAYA（旧：菅谷電気工事）の主な沿革

- 1950年4月、一般電気工事業として創業
 - ・ 北関東地区にて架空送電線、発電設備、電気設備、情報通信・移動体など総合電気通信工事を展開
- 2017年9月：JESCOグループの一員に参画
- 2018年9月1日：本社を渋川市に移転、JESCO SUGAYA（株）に商号変更

◆ JESCOグループの一員として

- 財務体質の改善
- 経営基盤の整備
 - ・ 内部体制構築
 - ・ ガバナンス
 - ・ 内部統制
 - ・ 管理体制強化
 - ・ 人事・リクルート、組織体制
 - ・ 業務体制強化
 - ・ 受注、施工体制
 - ・ 人的交流
 - ・ 事業拠点の再構築



JESCO SUGAYA株式会社のM&A後の現状②

- ◆ 「電気工事、通信工事分野における北関東No.1を目指す」～ 高い技術力の提供
- ◆ 東京電力や官公庁からの直接受注
- ◆ 京セラコミュニケーションシステム株式会社（KCCS）様との連携強化
 - 前橋事業所（旧本社）を賃貸

2018年

- 国土交通省関東地方整備局長表彰



- 国土交通省関東地方整備局長感謝状



- (社) 群馬県電設協会会長表彰

JESCO SUGAYA社員
優良女性技術者賞受賞



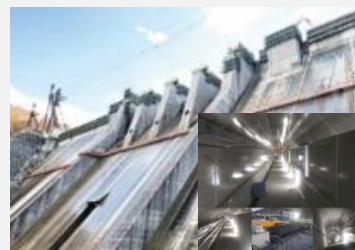
2019年



板倉町役場（電気設備工事）



板倉町長感謝状



ハツ場ダム 電気設備工事



ハツ場ダム 通信設備工事



架空送電線設備
保守業務委託工事

Ⅲ.中期計画（中間期）レビュー&トピックス

国内&アセアン地域での事業展開

(成長戦略) 国内EPC※事業の持続的成長を礎にアセアンEPC事業の拡大

国内EPC事業

- ◆ 電気、通信、無線設備工事等の受注拡大を目指す
- ◆ コスト管理徹底による利益の改善をすすめる

アセアンEPC事業

- ◆ ベトナム国内の高層コンドミニアムの電気、空調、給排水衛生、防災設備工事拡大
- ◆ ベトナムの工場建設・設計及び保守メンテナンス受注強化
- ◆ アセアンの空港などODAインフラ工事関連への取組み強化

共通

- ◆ 人材の確保と育成
- ◆ 業務提携、M&A

トピックス①：国内EPC※（5G工事対応準備）

※EPC= Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

◆ 業務提携の推進

- NECネットエスアイ(株)との協業の検討発表（2018年8月7日）
- 株）クイックフォックスとの業務提携発表（2019年2月4日）
- 他、電気通信設備工事会社との業務提携等交渉中

◆ M&Aの推進

- M&A検討
 - ・ 設計業務拡充、電気設備工事エリアの拡大
 - ・ プラント設備設計、施工体制の強化
- JESCO SUGAYAとJESCO CNSとのシナジー強化



JESCO CNS本社

◆ JESCO CNS

- 電気、通信、無線設備工事等の受注拡大
 - ・ モバイル事業5G対応工事準備
 - ・ 電気設備及び公共工事の受注拡大
- 原価削減策の強化
 - ・ 管理業務のIT化
 - ・ 設計のアウトソーシング化（ベトナム）

◆ JESCO SUGAYA

- 業績V字回復へ
 - ・ 不採算不動産の活用
 - ・ 本社統合による合理化



JESCO SUGAYA本社

トピックス②：アセアンEPC※1（JHE※2高層コンドミニアム大型案件受注）

※1 EPC=Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略
 ※2 JHE=JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC

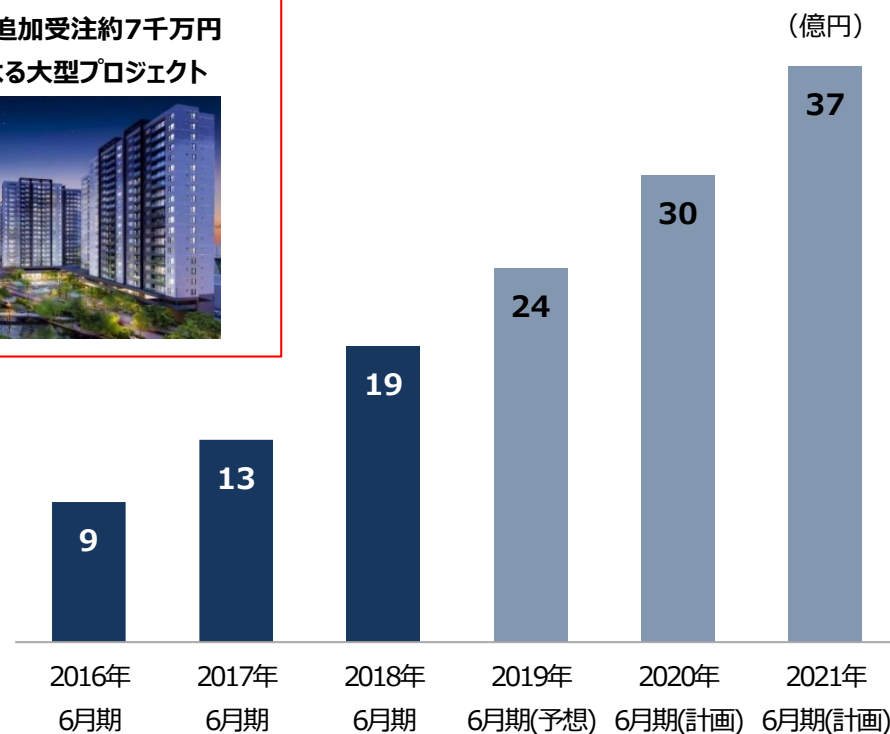
- ◆ 大型案件の設備工事受注（フローラ・ミズキ・パーク・プロジェクト 総額約10億円）
- ◆ ミズキ・パーク・プロジェクトが目指す環境対応型工事实績により時代に沿った工事の受注拡大を目指す
- ◆ ホーチミン市での高層コンドミニアムの設備施工実績では当社推定30%シェア



◀フローラ・ミズキ・パーク・プロジェクト
 2019年3月受注 ホアビン建設施工
 受注額9.6億円+追加受注約7千万円
 日本企業出資による大型プロジェクト



JHE売上高実績と計画



▲アセント・レイクサイド・タワープロジェクト
 ホアビン建設 受注額2.6億円

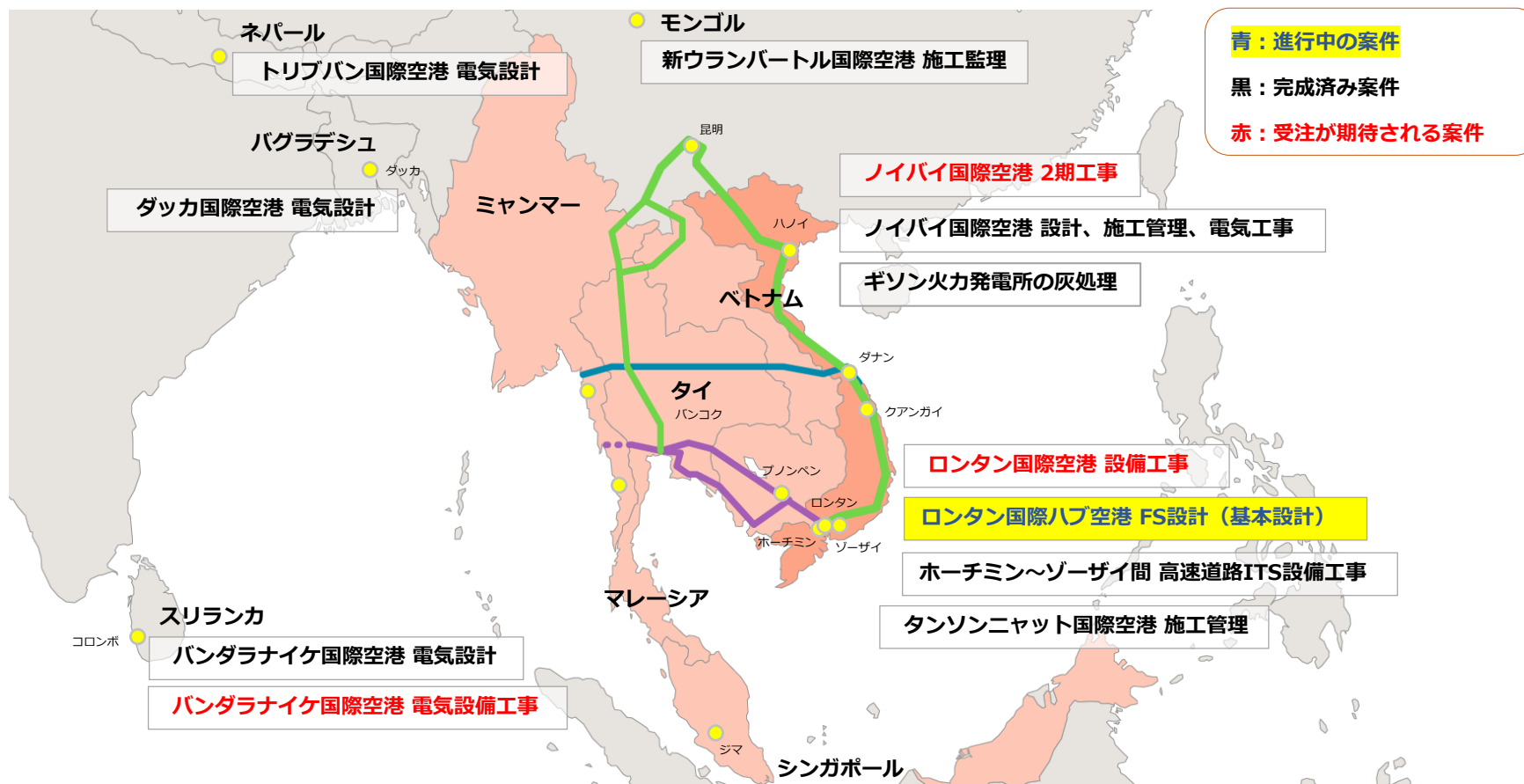


▲シティランド・パークヒルズ・CH2プロジェクト
 ホアビン建設 受注額2.5億円

トピックス③ : アセアンEPC※ (JESCO ASIAのODA案件)

※EPC= Engineering(設計), Procurement(調達), Construction(建設)の略

- ◆ ベトナム及びアセアン諸国でのODAインフラ案件の受注拡大
 - ノイバイ国際空港等の電気設計、施工管理、電気工事の実績により空港案件の受注拡大
 - 空港の他、高速道路、地下鉄など、多様なインフラ工事の受注拡大
 - ロンタン国際ハブ空港 : FS設計 (基本設計) 受注



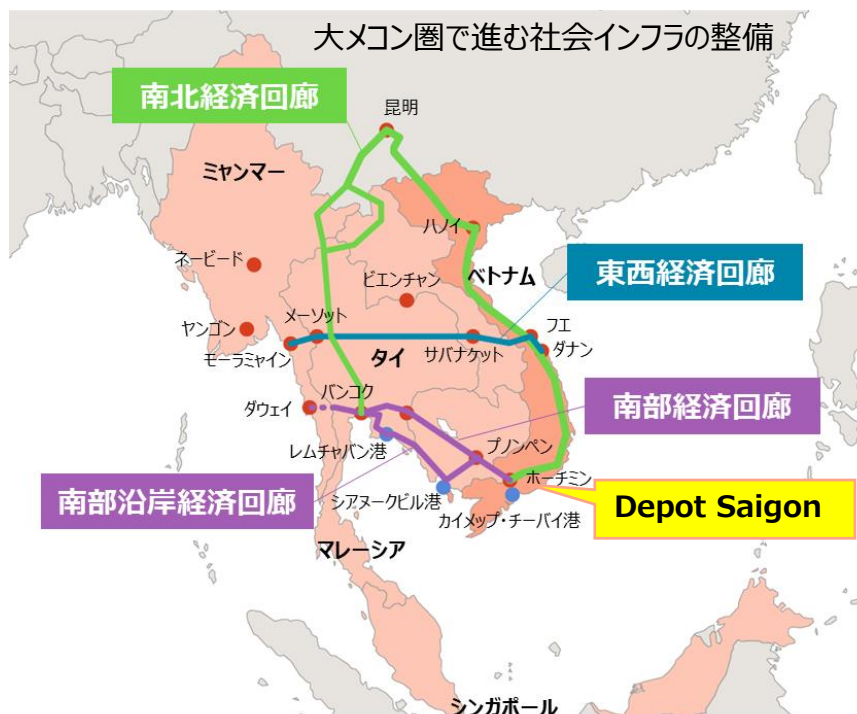
トピックス④：ベトナム南部経済回廊の要所における事業投資

Depot Saigon社（港湾、倉庫会社）への出資

- ◆ ホーチミン市サイゴン川流域の港湾、倉庫及び物流事業のDepot Saigon 社発行済み株式数の 5%取得
 - ホーチミン市の中心部から15 キロの距離、Hiep Phuoc 工業団地の入り口に位置
 - ベンルック-ロンタイン高速道路と南北高速道路の交差部にあり、物流の要所となることが期待される
- ◆ ホーチミン市サイゴン川流域に新設港湾施設に関連する工事の受注を期待



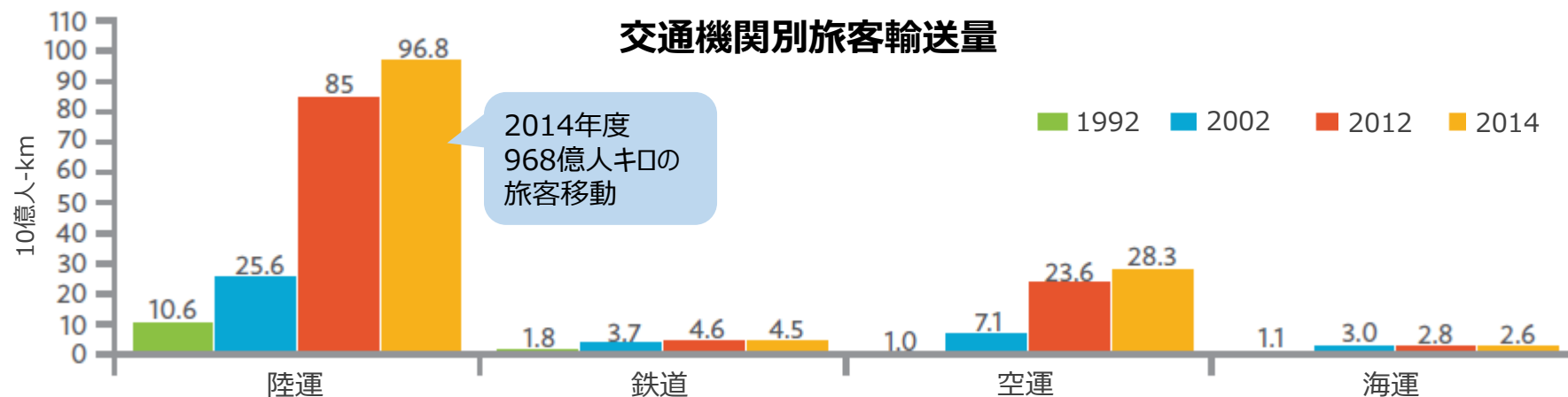
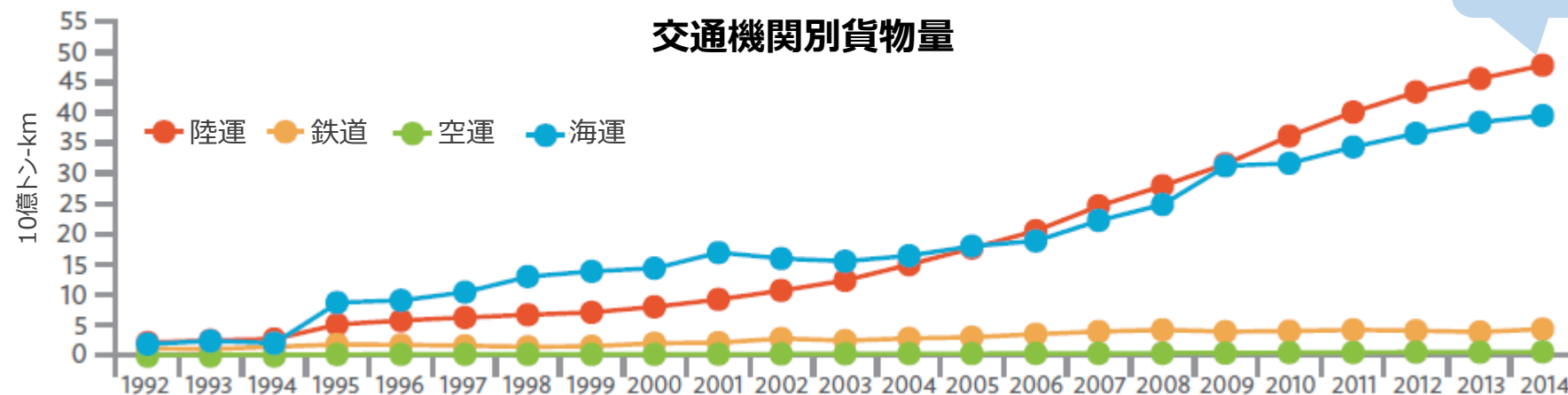
Depot Saigon社の港湾、倉庫予想図



[ご参考] ベトナムにおける輸送量の推移 (旅客・貨物)

- ◆ 輸送インフラの整備により、拡大する輸送量
- ◆ さらなる投資拡大が見込まれる

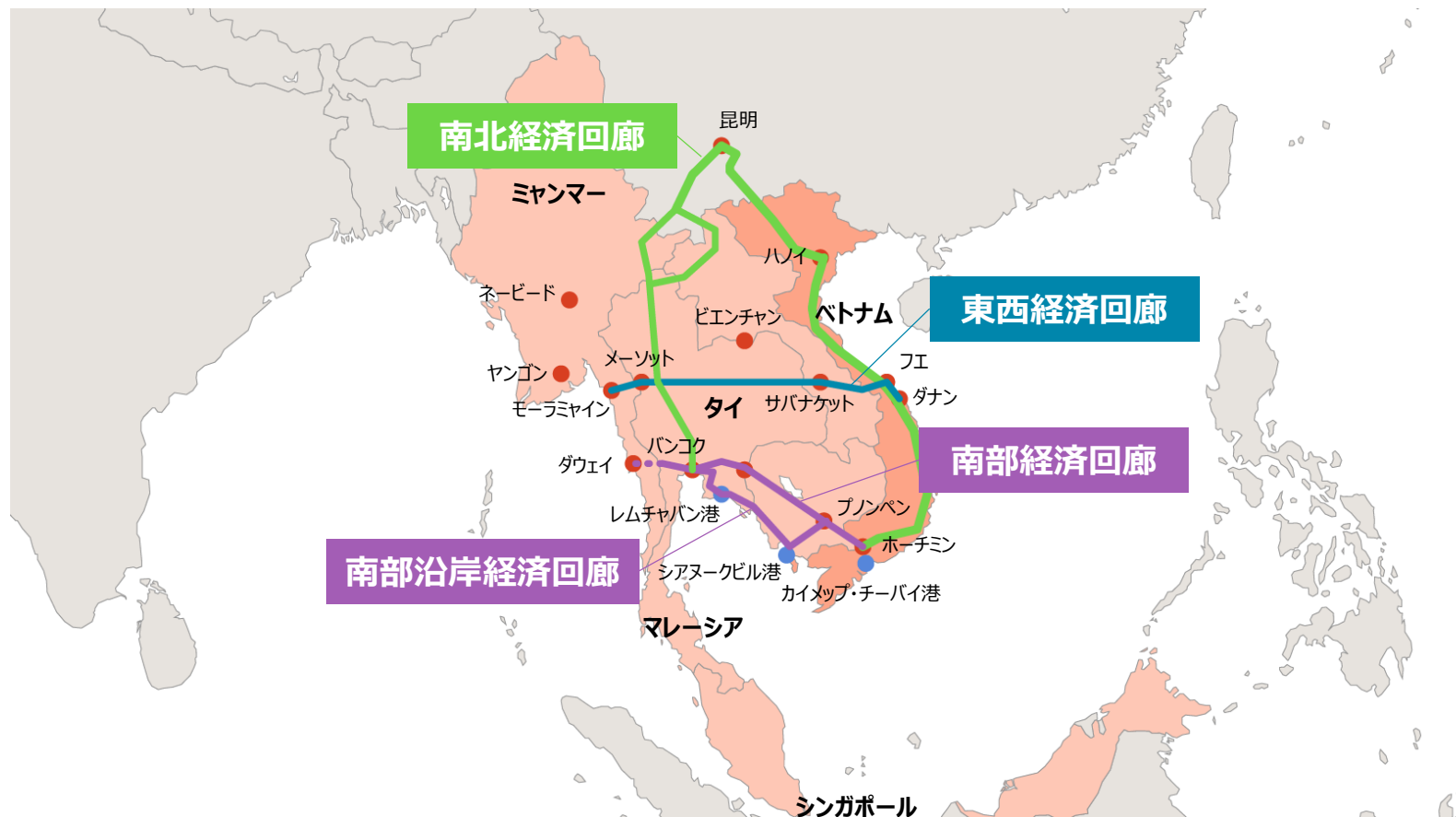
2014年度
479億トンキロの
貨物移動



出所：ASIAN DEVELOPMENT BANK "Mekong Subregion Statistics on Growth, Infrastructure, and Trade: Second Edition"より

[ご参考] 大メコン圏で進む社会インフラの整備

- ◆ 大メコン圏（GMS: Greater Mekong Subregion）とは、1992年に始動した、アジア開発銀行（ADB）が支援する開発プロジェクトの対象地域を言い、日本政府も当該プロジェクトを支援
カンボジア、ラオス、ミャンマー、ベトナム、タイ、中国（雲南省と広西チワン族自治区）から成る
- ◆ 1998年、「南北経済回廊」「東西経済回廊」「南部経済回廊」の整備が優先プロジェクトとなる

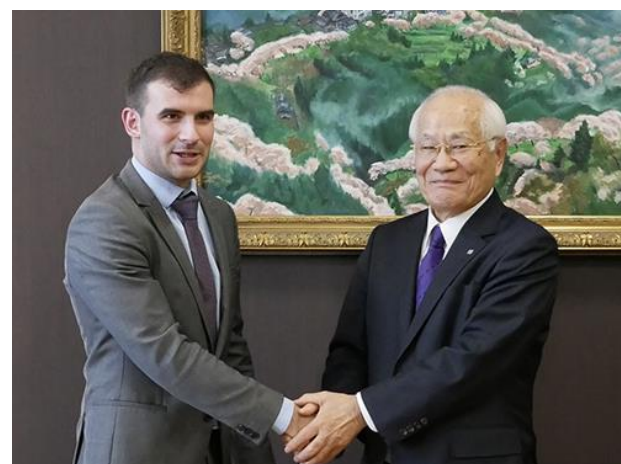


トピックス⑤：ステークホルダーとの対話（海外のメディア）

- ◆ 4月8日、当社のベトナム進出が評価され英国通信社「THE WORLD FOLIO」のHPに当社記事掲載
- ◆ 米「Newsweek International」の「Made by Japan」特集5月号に当社紹介予定



The Worldfolio ホームページ



取材の様子、当社オフィスにて

トピックス⑥：ベトナム人技術者育成と研修

- ◆ 優秀な人材の確保
 - ベトナム国ダナン工科大学学生 25名に対して奨学金贈呈継続
- ◆ ダナン工科大学と日本ODAを活用した共同プログラム（高度設計技術者育成）を検討中
- ◆ ベトナム進出以来、独自の方法で人材育成
 - ベトナム人社員累計150名以上に日本でのOJT研修継続実施
 - ベトナムでの日本語社内研修
- ◆ 日本での新入社員22名（内留学生5名）、ベトナムでの新入社員37名



ベトナムでの日本語社内研修



関電工様にて電気設備技術研修



I H I プラント様にて 電気計装設計技術研修



ダナン工科大学への奨学金贈呈式



Nguyen Ngoc Vu, President
The University of Danang (ダナン大学総長)

トピックス⑦：第1回「創立50周年記念株主優待旅行」ベトナム視察

- ◆ 応募総数： 約1,500名
- ◆ 株主数： 48期 約2,500名 49期 約3,500名
- ◆ 抽選会： 株主総会終了後、第三者立会いのもと抽選
5組10名様をご招待
- ◆ 企画社： (株) 近畿日本ツーリストコーポレートビジネス
- ◆ 視察先： タンソンニャット国際空港、ノイバイ国際空港、
JESCO ASIA オフィス、JHE施工現場
- ◆ 第二回： 2019年8月31日現在、100株以上の
普通株式を保有している株主様対象



2018年11月27日
創立50周年記念株主優待旅行抽選会



ベトナム視察旅行の様子



**JESCO創立50周年記念株主優待
JESCO視察とベトナム観光 4泊6日旅行**
旅行期間：2019年3月5日(火)～3月10日(日) 4泊6日間

ご旅行の概要
当社は、2015年9月に東京証券取引所市場2部に上場いたしました。また、2020年8月には創立50周年を迎えます。
この機、株主の皆様へ当社の海外事業への理解を深めていただくことにより、当社株式の魅力を高めて中長期的に保有いただける事を目的として、記念株主優待を実施いたします。なお、今回のベトナム視察と観光旅行では、当社のベトナム拠点と完成工事現場の視察及びホーチミン、ハノイの観光をお楽しみいただく予定です。

観光地
世界遺産 ハロン湾
ホーチミン廟
統一宮
大小2,000以上の絶景が美しいユネスコの自然遺産のハロン湾で観光・船上ランチをお楽しみいただけます。

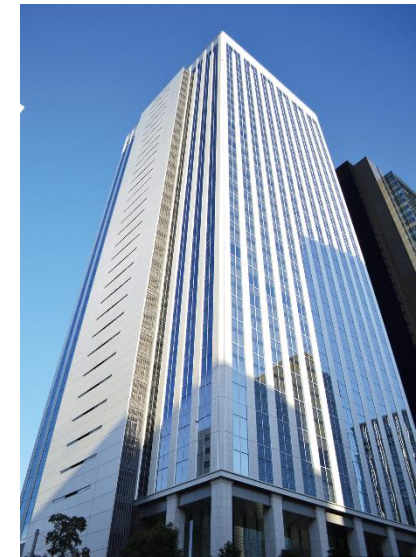
視察先
ホーチミン JESCO ASIA オフィス
ホーチミン ベトナム電力（VPP）の建設現場
ハノイ/ノイバイ国際空港の航空設計・施工管理・建設現場です。

IV. 参考資料

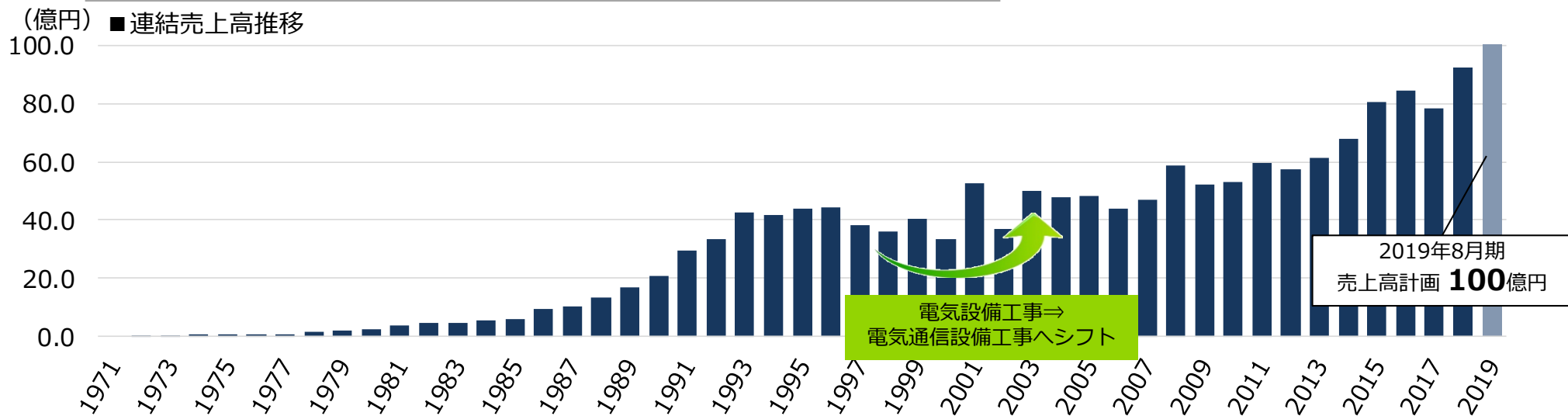
当社グループの事業概要と強み

◆ 創立49年の独立系、電気・通信・無線設備工事会社

会社名	JESCOホールディングス株式会社
所在地	東京都新宿区北新宿二丁目21番1号 新宿フロントタワー23階
事業内容	電気設備、電気通信、無線通信工事の設計、施工、保守メンテナンス等
設立	1970年8月21日
資本金	970百万円（2019年2月28日現在）
子会社	JESCO CNS（株） JESCO SUGAYA（株） JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY (JESCO ASIA) JESCO HOA BINH ENGINEERING JOINT STOCK COMPANY (JHE) JESCO CNS VIETNAM COMPANY LIMITED (CNS VIETNAM)
従業員数	連結：647名（2019年2月28日現在）



本社：新宿フロントタワー23階



◆ 日本とベトナムに拠点を持ち、アジアで電気・通信・無線設備工事を展開

1970年	東京都西東京市（旧保谷市）にジェスコ株式会社設立
1972年	東京電力第一福島原子力発電所格納容器L/T（リークテスト）業務に進出
1996年	防衛庁（市ヶ谷）向け通信工事を受注
1997年	マレーシアに合併会社、JESCO BINA MALAYSIAを設立（現：業務提携）
2001年	ベトナム ホーチミン市にJESCO SE VIETNAMを設立（現：JESCO ASIA JSC）
2004年	会社分割し、持株会社としてJESCOホールディングス株式会社と商号変更
2014年	ベトナムホーチミンのゼネコン最大手ホアビン建設の設備工事子会社を連結子会社化（現：JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC (JHE)）
2015年	東京証券取引所市場第二部上場（コード：1434）
2017年	菅谷電気工事(株)を連結子会社化（現：JESCO SUGAYA(株)）
2017年	ベトナム ダナン市にJESCO ASIA JSC ダナン支店開設
2018年	ベトナム ハノイ市にJESCO CNS VIETNAM COMPANY LIMITED設立 国土交通大臣表彰「第1回JAPANコンストラクション国際賞」受賞 ベトナム国建設省副大臣表彰「2018年度高品質工事賞」受賞

※赤字は海外展開を示しています。

— 経営理念 —

FOR SAFETY FOR SOCIETY

「技術を通して 安心して暮らしてゆける豊かな社会づくりに 貢献する」

— 事業領域 —

JESCOグループは「電気」「通信」「無線」設備に係わる
設計から建設、保守・メンテナンスまで手掛ける総合エンジニアリングカンパニー

電 気



工場・ビル
(高層 condominium)



高速道路
(ETC)



空港



エネルギー



通信
(基地局)



無線
(防災)

通信・無線

現地調査

Feasibility Study

設計

Engineering

積算

Estimation

調達

Procurement

建設

Construction

保守・メンテナンス

Maintenance

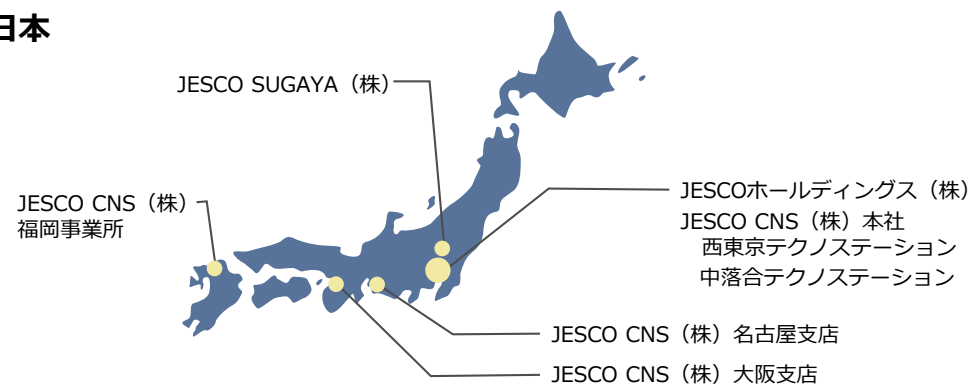
エンジニアリング領域におけるEPC（設計・調達・建設）プロセス

国内で培った高度な技術をアジアへ。

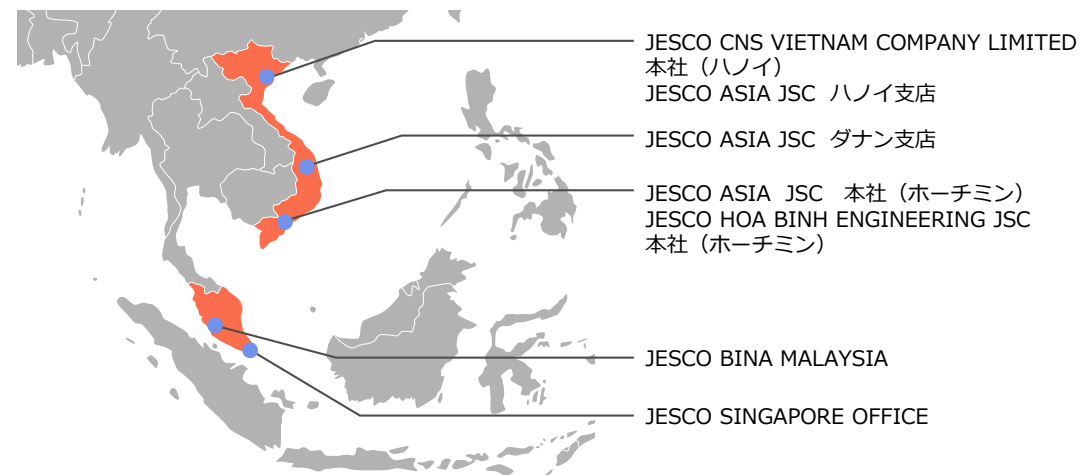
ベトナムを拠点にアジア全域のインフラ需要を支え、事業を拡大。



日本



アジア



■ 国内EPC事業

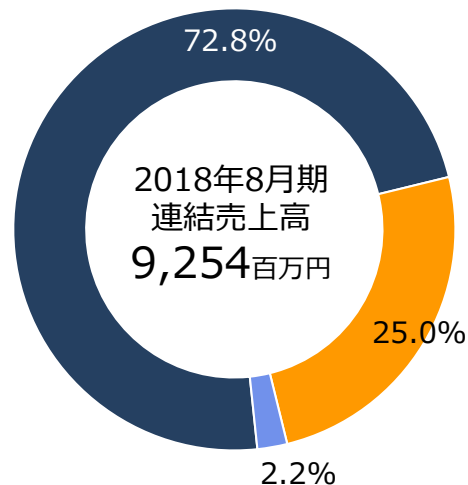
電気設備工事

アミューズメント施設・商業施設・
太陽光発電設備

通信・無線工事

ETC・防災行政無線・監視カメラ・
移動体通信・大型映像事業

- JESCO CNS株式会社
- JESCO SUGAYA株式会社



■ 不動産（CRE）事業

不動産保有・賃貸

都内の自社不動産を管理・運用

- JESCOホールディングス株式会社

■ アセアンEPC事業

設計・積算

電気・空調・給排水・通信・電気計装

工事

電気・空調・給排水・通信・電気計装

- JESCO ASIA JOINT STOCK COMPANY
- JESCO HOA BINH ENGINEERING JSC
- JESCO CNS VIETNAM COMPANY LIMITED

電気・通信・無線設備を中心に 社会インフラに応える独立系総合エンジニアリングカンパニー



強み（1）

独立系ならではの幅広い顧客基盤



強み（2）

独自のワンストップソリューション基盤



強み（3）

高度で柔軟なグローバルオペレーション体制



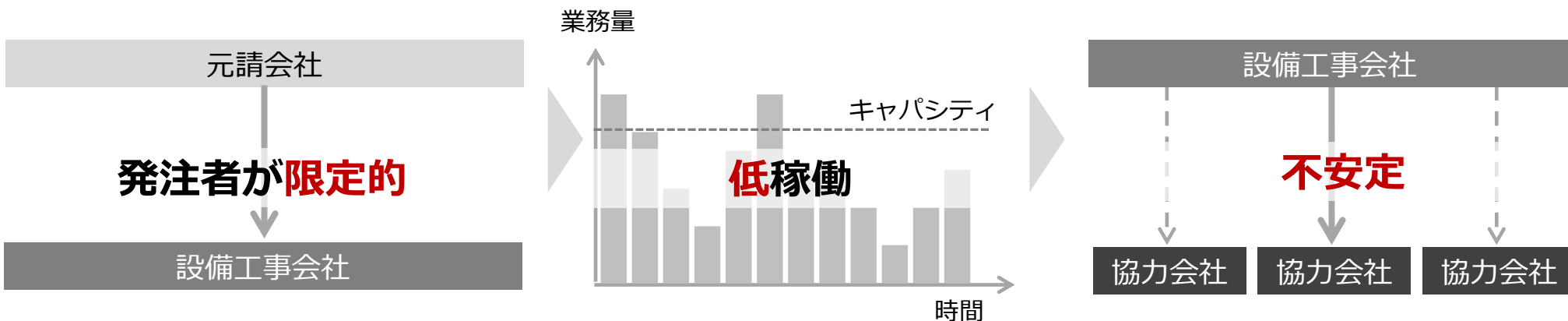
強み（4）

独自のクロスボーダー人材育成体制

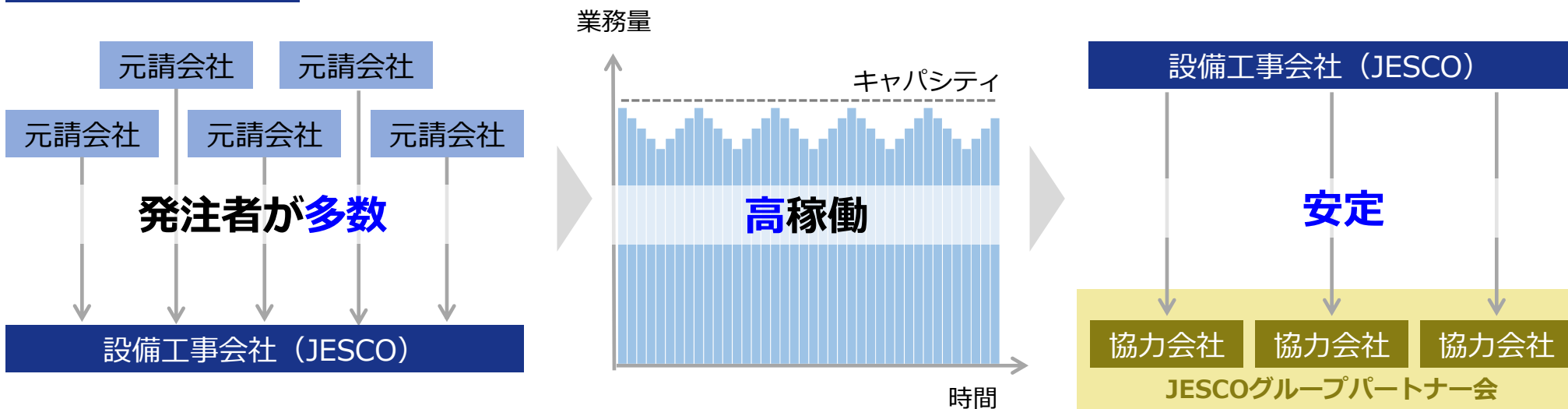
強み（１）「独立系ならではの幅広い顧客基盤」

◆ 幅広い取引先を持つことで、グループパートナー会を含め、安定的かつ高い稼働率を維持

大手系列



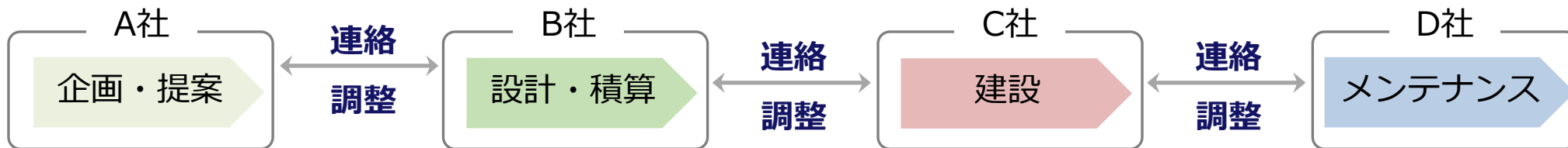
JESCO



強み（２）「独自のワンストップソリューション基盤」

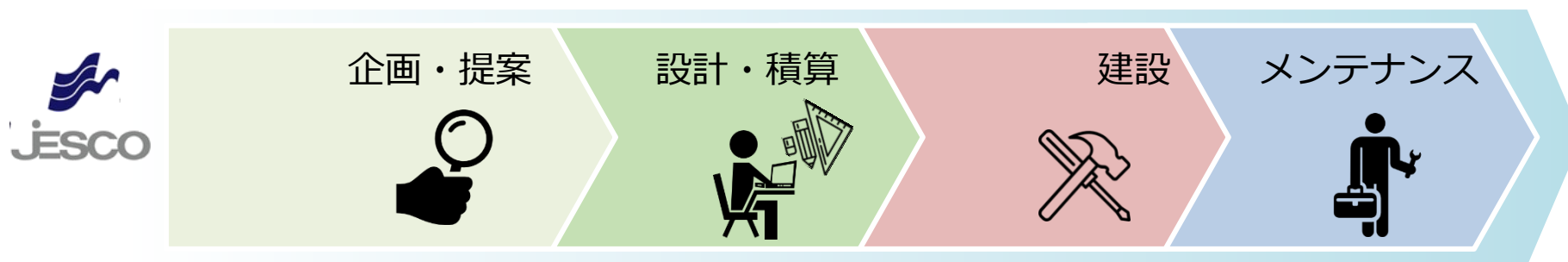
- ◆ 工程間の調整コストが不要、かつ短納期で高品質なソリューションを提供

一般的な工程



✖ 高い調整コスト・納期遅延・低品質

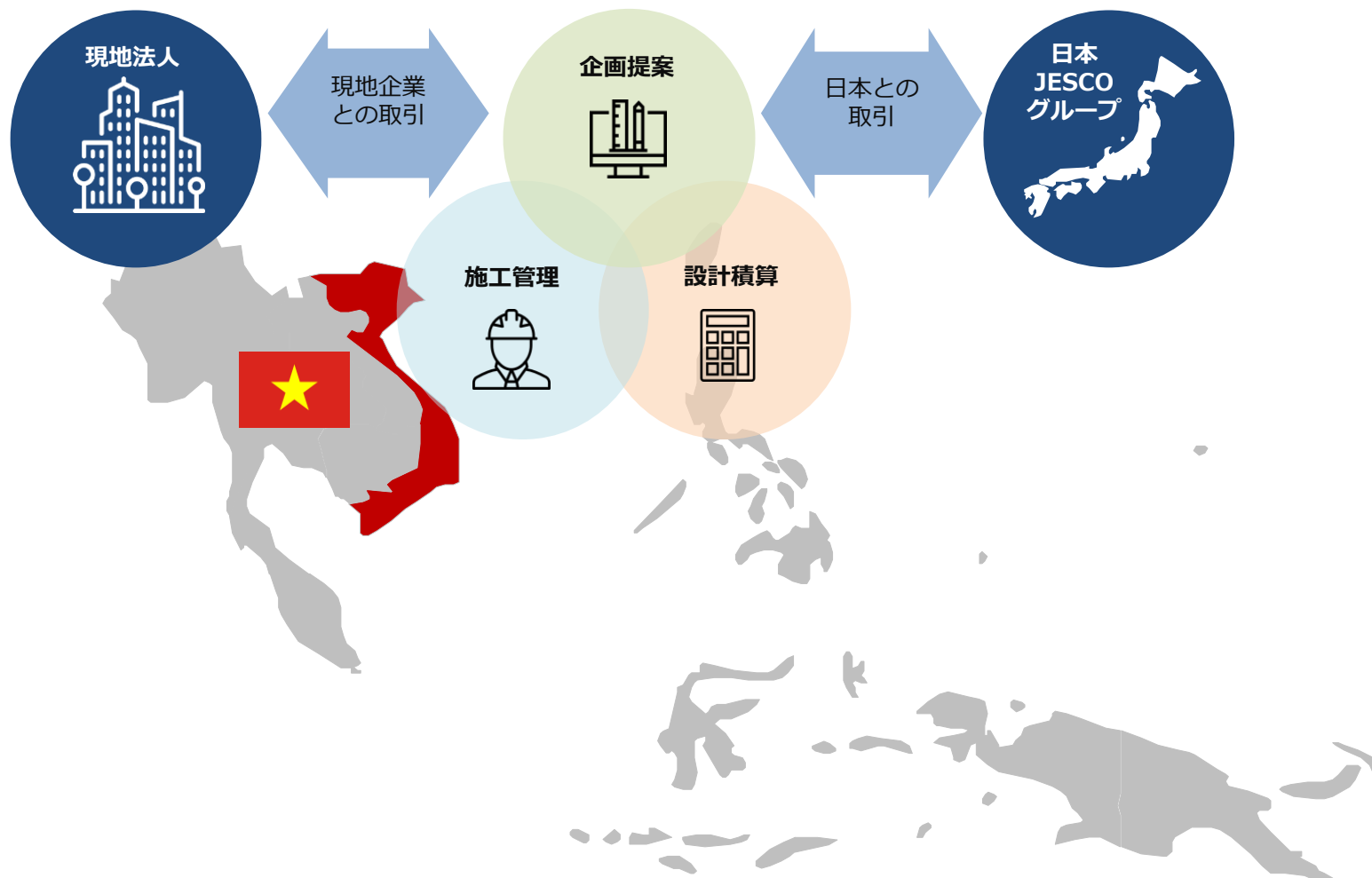
JESCOの工程



○ 低い調整コスト・短納期・高品質

強み（3）「高度で柔軟なグローバルオペレーション体制」

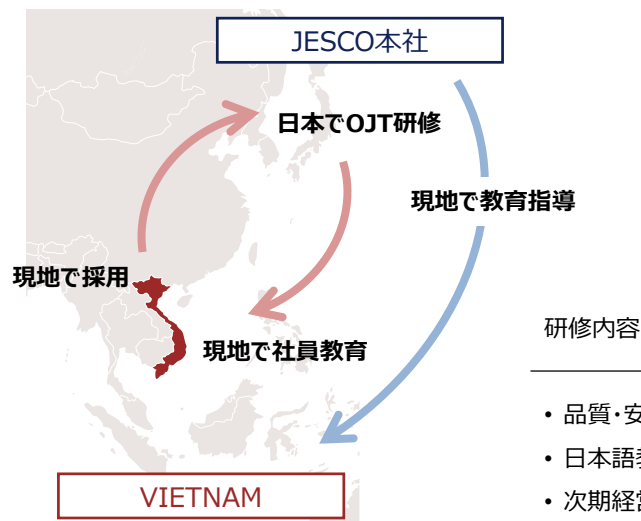
- ◆ 企画提案、設計・積算から施工管理まで、高度なグローバルオペレーション体制により、JESCOグループの競争力を創出



強み（４）「独自のクロスボーダー人材育成体制」

- ◆ ベトナム人社員への独自スキーム（日本語教育、OJTによるマルチエンジニア育成研修）により、高品質、短納期、低調整コストを実現

独自の研修教育スキーム



- 競争力のある受注価格
- 高い品質の提供
- 短期での納期
- 低い調整コスト



JESCO ASIAの日本語研修



JESCO ASIA 設計・積算部門



関電工様にて電気設備研修



IHIプラント様にて電気計装設備研修

本資料はJESCOホールディングス株式会社（以下、当社）の業績に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資勧誘を目的としたものではありません。

本資料には当社の業績、戦略、事業計画などに関する将来的予測を示す記述および資料が記載されております。これらの将来的予測に関する記述および資料は過去の事実ではなく、発表時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予測です。

また、経済動向、他社との競合状況などの潜在的リスクや不確実な要因も含まれています。その為、実際の業績、事業展開または財務状況は今後の経済動向、業界における競争、市場の需要、その他の経済・社会・政治情勢などの様々な要因により、記述されている将来予測とは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

本資料及び当社IRに関するお問い合わせ先

JESCOホールディングス株式会社 戦略経営企画室 広報・IR部

TEL : 03-5937-6151 E-mail : jesco-ir@jesco.co.jp

URL: <https://www.jesco.co.jp>